

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) ㈱ダイセル 姫路製造所網干工場

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

〔 網干工場 環境方針 〕

網干工場は、協力会社を含む全ての従業員が各人の役割と責任を熟知して、環境保護に
取り組み、C A P Dサイクルによる継続的改善により、環境保護に努めるために以下の基
本方針を策定する

1. 当工場が管理可能な事業活動（開発から廃棄に至るまで）の環境側面に関連して適用
可能な法規制、及び当工場が同意したその他の要求事項を順守し、順守状況をチェッ
クするための仕組みを確実に実施します
2. 環境目標を年度毎に設定し、状況の変化による見直しとアクションをタイムリーに実
施することで、環境改善を推進し、環境にやさしい工場を目指します
3. 省エネルギー、省資源及び廃棄物の削減・リサイクルに対する改善計画を立案実行
し、コストダウン、品質安定化だけでなく、気候変動に起因する様々なリスクへの対
応と合わせて、G H G低減を含む環境影響の低減につなげます
4. 環境負荷化学物質（P R T R、V O C、フロン等）の適正管理と排出削減を行うこと
により、環境汚染予防と改善を図ります
5. 環境影響に関する変化点に対して、アセスメントを実施し、リスクに対する予防措置
と事後処置を実施します
6. 異常措置訓練を通じて、マニュアルのブラッシュアップを図りつつ、初動対応能力を
高めていきます

上記の取り組み内容を当工場のために働く全ての人に周知することにより、環境保護の
向上に努める

適用範囲：

網干工場がライフサイクル（原材料の取得又は天然資源の産出から、最終処分までを含
む、連続的かつ相互に関連する製品又はサービスの段階群）の視点を考慮して、管理す
ることができる環境側面（大気汚染、水質汚濁、廃棄物、悪臭・騒音・振動、土壌・地下
水汚染、資源の枯渇、地球環境への影響）、又は影響を及ぼすことが出来ると決定した活動
（製品輸送、製品開発、配送・構内物流、物品購入、顧客・外部対応、トラブル低減活動、
外部の環境活動、サービス）、その他部門で影響が生じると思われる事項に適用する。

2025年4月1日

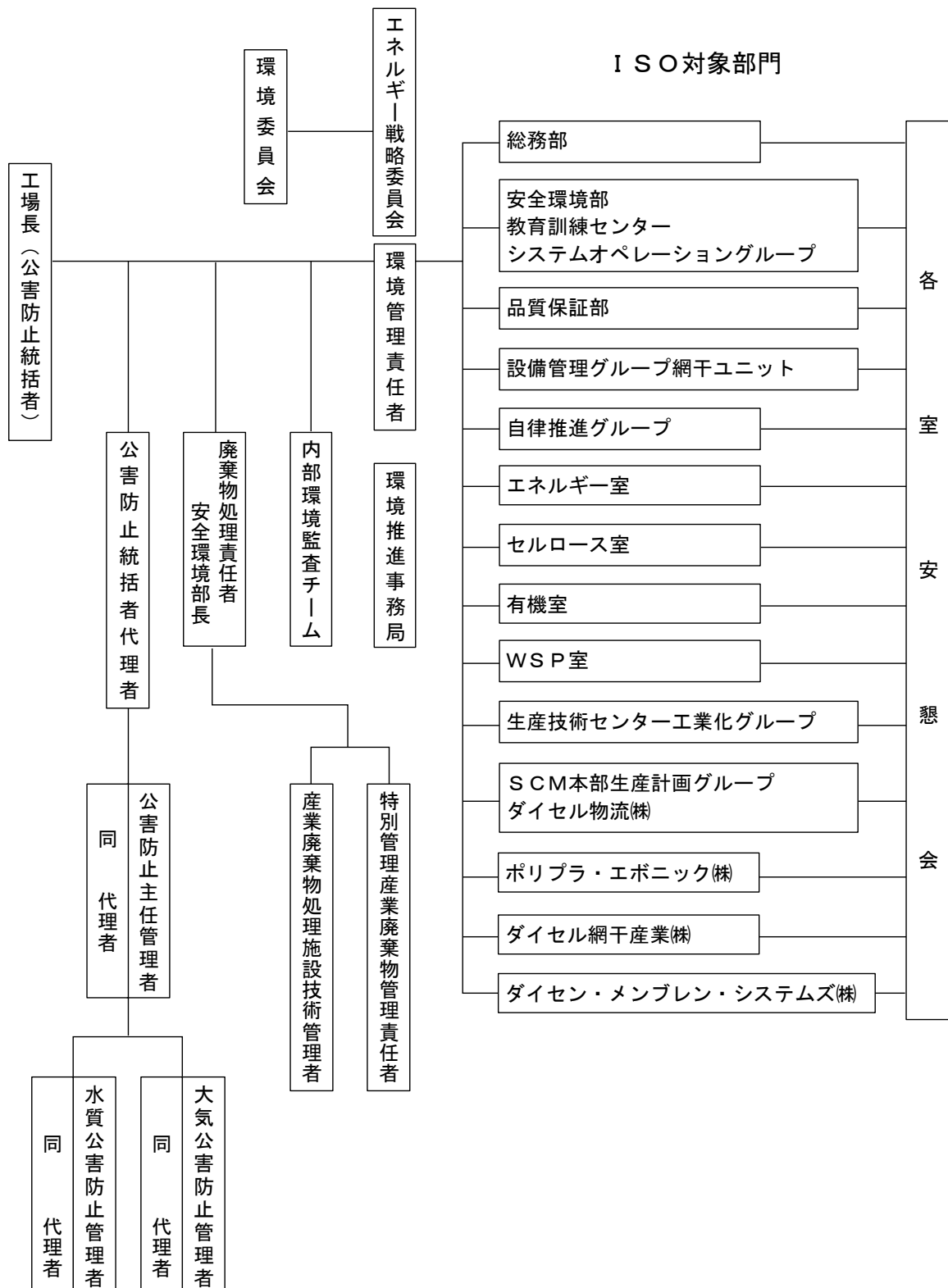
株式会社ダイセル姫路製造所網干工場

工場長 中 石 将 宏

事業者 : 株式会社ダイセル姫路製造所網干工場
兵庫県姫路市網干区新在家 1 2 3 9 番地

活動範囲 : 有機化学製品、セルロース化学製品、無機化学製品および高分子樹脂製品の開発・製造

関連事業所 : ・ポリプラ・エボニック株式会社
兵庫県姫路市網干区新在家 1 2 3 9 番地
【高分子樹脂製品の開発・製造】
・ダイセル網干産業株式会社
兵庫県姫路市網干区新在家 1 2 3 9 番地
【無機化学製品の開発・製造及びプラスチックの加工】
・ダイセン・メンブレン・システムズ株式会社
兵庫県姫路市網干区新在家 1 2 3 9 番地
【分離膜モジュールの製造・開発】



2 環境保全活動の実施状況等

項 目	取組結果	今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	【省エネ・CO₂削減の取り組み】 ・IS014001 環境マネジメントシステムを運用することにより、目標・実行計画の立案、P D C A サイクルによる継続的に改善を進めた。 エネルギー最適化運転を行うことにより、省エネルギー、省電力、CO ₂ 削減することが出来た。 ＜実績＞ ・省エネ（原油換算）：1,570kl ・CO ₂ 削減：1,949t	・省エネルギー取組みアイテムを探索、実施することによりエネルギー使用量を削減する。 ・省エネ：原油換算 5,765kl ・CO ₂ 削減：5,177t
省資源・廃棄物削減	【省資源の取り組み】 ・原材料のロス削減の取り組みなどを行い、使用量を削減した。 【廃棄物削減の取り組み】 ・荷材等プラスチック製品の売却化を進め、再生利用出来るよう処理ルートを確立するなどにより、廃棄物の削減を進めた。	・原料などの使用量を削減する。 ・廃棄物の売却化、リサイクル率アップの取り組みを行う。
グリーン購入	【グリーン購入】 ・モデルベンダーの納入実績を把握し、グリーン購入を継続的に実施した。	・グリーン購入を継続する。
化学物質対策	【P R T R 対象物質の管理とロス低減】 ・P R T R 対象物質の管理を行い、ロスを低減した。 ・新規対象物質について 2024 年度報告を実施した。 【化学物質の管理】 ・取り扱い物質のリスクアセスメントを実施した。 ・取り扱い物質のS D S 最新版管理を実施した。 ・化学物質管理者、保護具着用管理責任者を任命し、部門への教育、掲示などを実施した。	・P R T R 対象物質の管理を行い、ロスを低減する。 ・対象物質の管理を行う。
環境マネジメントシステム	【環境マネジメントシステムの継続】 ・環境方針を策定し、全従業員に周知した。 ・2024 年度目標実行計画書を策定し、取り組みを行った。 ・IS014001 更新審査受審（10/9～11） ・全部門の内部監査を実施し、発見された改善点については改善を進めた。（10 月）	・環境マネジメントシステムを継続実施する。 （外部審査：10 月予定） ・内部監査実施予定（8 月）
教育	【環境教育】 ・法改正情報、法定管理者の任務、環境トラブル事例などのテーマで、従業員への環境教育を実施（1/23）	・従業員への環境意識向上のための教育を実施する。（1 月）
地域社会活動への参加	・行政主催行事（環境保全管理者協会等）に積極的に参加した。	・地域や行政が行う環境保全活動に積極的に参加する。
環境コミュニケーション	【情報公開】 ・全社報告書を発行した。（6 月） ・近隣自治会の会議、行事等に参加し、相互理解を深めた。	・環境情報の公開に努める。